

匿名データ検討課題整理部会（第1回） 議事概要

1 日 時 平成30年7月4日（水） 10:30～12:00

2 場 所 総務省第2庁舎 独立行政法人統計センター会議室

3 出席者

【構成員】

中央大学経済学部教授 伊藤 伸介

青山学院大学経営学部招聘教授 美添 泰人

【事務局】

独立行政法人統計センター理事長、統計局総務課長、
統計研究研修所新規情報活用技術研究官、
政策統括官（統計基準担当）付統計企画管理官付企画官

4 議事

- (1) 匿名データの作成・提供に関する検討の今後の進め方について
- (2) その他

5 議事概要

- (1) 匿名データの作成・提供に関する検討の今後の進め方について
 - ・ 各国の状況についてはとても貴重な研究成果だと思う。各国で秘匿に関する情報をどこまで明らかにするか取り扱いが異なっている。詳細如何（美添先生）
→ 匿名技法は国や各調査によって様々だった。通常、詳細な手順は公表せず、一部、用いた手法のみ公表している国があった。国によってはマニュアルを内部用または外部に公表するために作成していた。更に、匿名データ作成のためのチェックリストを作成・公表している国もあった。具体的手法を記したチェックリストを研究部門が作り、それに従って実査部門が匿名化をするという運用である。なお、どの調査でチェックリストのどの項目を実際に実施したかについては公開されない。
 - ・ 以前は、攪乱手法の導入について否定的な意見も多かったように記憶しているが、大丈夫か。
→ 攪乱手法を用いるということについては、関係者に新しい匿名データの制度を説明する際に併せて説明しており、否定的な意見は出していない。
 - ・ 匿名データの有用性の検証について、匿名データと原データそれぞれによる

集計表の比較は見た記憶がある。一方、他の計量分析的な手法については見たことがない。攪乱手法を用いる場合は、こういった、分析をする上で重要な情報を提供することも大切ではないか。

→ 情報提供については、利用者に安心して使っていただけるよう検討して参りたい。

- ・ 匿名化処理の外部向けの説明については、方法の説明を行うのではなく、ある匿名データを作成した際に、「こういう性質は満たしている、こういう性質は満たされていない」という情報について責任を持って公表し、詳細は公表しないという形はどうか。

→ 上記と併せて検討して参りたい。

→ 分析者に何も事前情報を与えなければ、後に原データと相違があると分かったときに批判を受けることとなる。一方、はっきりと事前にデータにいわゆる嘘の情報が含まれると公表しておけば批判はされない。「そのまま帰帰分析では使うのではなく、『他の具体的な手法名』を使うこと。外れ値があるので頑健な分析手法の併用が必要である。」など、簡単な解説を入れてはどうか。学生なども使うことになると考えると、このような注釈を入れることは教育にもなる。

→ 明示的な外れ値があるデータを分析することで、外れ値を含むデータの分析についての経験ができる。

- ・ 今は官公庁が無料で匿名データの提供を行っているが、対価はとらないのか。利用料を元にデータベースを整備することで、コストをかけずに制度を運用することができるようになり、ひいては利用者のためにもなると考えている。

→ まさに政省令の課題として検討している。高度な公共性がある官公庁や公共団体に対しては、従来どおり無償で提供を行っていく予定である。

→ 政府機関からの要請に対しても費用対効果を明確にすべきであり、無料ではないことを明確にすることで、利用者と作成者ともに作成にコストがかかっていることが自覚できる効果もある。

→ E B P Mが進行して、統計局や統計センターに業務が発生するのであれば、対価の代わりに予算をつけることで業務を支える形もある。

- ・ 匿名データの利用状況などは適切に公開して、他の目的に使えないようにしているのか。

→ 匿名データは他の目的に使ってはならないと定められており、罰則も規定されている。また、他のデータとの照合行為をしてはならないと明示してお

り、同様に罰則が規定されている。

- ・ 個人情報の開示リスクが高いデータについては、除外した上で、合成データの発想を用いて埋め戻してはどうか。将来的にはこのような手法の議論も必要ではないか。

→ まずは、今までの匿名データ作成手法を標準化し、少し攪乱するところからはじめたい。

- ・ 統計関係者の集まりでも、あまり匿名化に関する話題は知られていないように思う。

→ 知っていても公表できない情報であることが多い。教育セッションなどときどきやってはどうか。

→ 検討して参りたい。

(2) その他

次回の匿名データ検討課題整理部会は8月を予定。

以上